

【企業】2024年度 大学

「学習成果に関わる外部評価—学位プログラムの学修評価を把握するための企業調査—」回答

2024. 8.

回答者

本学の卒業生を多く採用していただいている企業 10 社に回答いただきました。

【質問回答】

1. 学生が身につけるべき資質・能力について

*是非身につけて欲しい資質・能力

*それほど重要視していないこと

① 弊社では職種に応じて求める内容と基本的に求められる点について記載致します。

■ 共通する事項

- ・社会人として仕事に取り組む姿勢
- ・業務に関わる知識や技術を素直に吸収する姿勢と能力
- ・労働により対価をもらうということの責任感
- ・社会人になるための基礎的な教養
- ・時代の変化に対応できる柔軟性・チャレンジ精神
- ・コミュニケーション能力

■ 職種ごとに求められること

1. 総合職・・・コミュニケーション能力（協働のための情報共有能力・プレゼンテーション能力・組織における振る舞い・対人会話力、交渉力・統率力などを中心にあらゆるコミュニケーション能力を注視）、ファッションを軸としたあらゆるビジネスに関心を持つための広い視野、経営的感覚、論理性、基礎学力などを中心に資質が求められます。また、学業だけに限らないところで、行動力、積極性、リーダーシップ、挑戦心を持っていること、語学力や特殊なスキルなど様々な角度で総合職としての素養を捉えます。
2. 技術職・・・技術力・センス（デザイン画からソースを読み解く、もしくは企画意図を理解して消化し、自身の業務に落とし込む能力を含む）を第一に求めますが、加えてチームや関連部署と協働するためのコミュニケーション能力、ファッションや洋服にかける熱意・意欲と社会人になるにあたっての基礎学力が求められます。
3. 販売職・・・コミュニケーション能力（特に対人会話力、表現力、対応力）とファッションに関わるセンスが強く求められます。加えて、自社のブランドとの親和性、基礎学力が求められます。

職種ごとにもとめられる資質が異なってきますので、社会に出るにあたっての基本的なマ

ナーや基礎知識をきちんと身に付けていただくと同時に、将来の目標をできる限り具現化させ、適応した能力、技術を身に付けて頂くことが重要かと思います。

② *是非身につけて欲しい資質・能力

・対人能力(コミュニケーションにおける表現力、協調性、忍耐力)

*それほど重要視していないこと

・個人で完結する能力や実績、成果

③*ファッションビジネスは、常にトレンドや嗜好が変化し、また顧客への到達方法(販売方法)も一層多様化し「夜の世相すべてがファッションビジネスに集約される」という受容性と、柔軟性を軸として持ったうえで、各々の立場役割のプロとしての姿勢成長の追求。

⇒インフルエンサーのような、ユーザーとしての発信を常に意識できるような内容を、体系化して教えるのは難しいと思いますが、ワークショップでの仮説検証などは有効かもしれません。

⇒重要視していないことは、特にありません

④ *是非身につけて欲しい資質・能力 : 好きを追求すること。

*それほど重要視していないこと : ファッションセンス

⑤・アパレルの専門的な知識

・コミュニケーション能力

⑥ *是非身につけて欲しい資質・能力 : ・志/熱量/柔軟的思考力/汎用性/変化対応力

*それほど重要視していないこと : ・コミュニケーション能力/プレゼン力/リーダーシップ

⑦是非身につけて欲しい資質・能力

・創造力とデザイン力: 独自性と創造性が重要であり、新しいトレンドを生み出す力が求められるアパレル業界です。更に一般向けのアイテムに落とし込む思考力が求められます。

・コミュニケーション能力: チームでの協働や顧客とのやり取りが多いため、個の思いだけでなく、周囲との円滑なコミュニケーションが必要です。

・技術的スキル: パターンメイキングや縫製技術に加えて、デジタルデザインツールの使用能力が重要です。

・スピード感: 迅速に物事を進める能力が求められます。

それほど重要視していないこと

回答を差し控えさせていただきます。

⑧*是非身につけて欲しい資質・能力

→ファッションビジネスの現場経験が学生のみなさんの最大の武器になるかと思います。現経験と学校での体系的な学びが、学生個人のバランス力を育むと同時に、個のセンス、感度、時代感。といったファッションの世界で重要なことの才能が開く可能性があるかと思っています。独創性も大事ではあるものの、世の中の人々の心を動かすデザイン性、スタイリング、世界観が重要だと思っています。

→主体性。他人になんと言われようが自分の意見を発信する力。間違ってもよいので、それを説得する力。自身の考えを相手がりかいでできるように伝える力。

*それほど重要視していないこと

→勉強ができる。成績がよい。というよりも、考える力、感じる力が大事な時代だと思っています

⑨以下、アパレル業界というよりは、弊社含め縫製業に関してという狭義な認識で回答させていただきます。

- ・洋服に関する基本的な知識とアパレル業界の構造、変革状況の把握。
- ・縫製業に対する興味と前向きな取り組み姿勢。
- ・入社後のライン生産を意識したコミュニケーション能力とチームワーク、協調性。
- ・自己が保有すべき技術・ノウハウ・資格の具体化とそれを生かした仕事のイメージ。
- ・目指すべき目標とそれに向けたライフプラン（職種、時期）の策定。

⑩ *是非身につけて欲しい資質・能力

→コミュニケーション力・自ら考える力・ストレスコントロール力

*それほど重要視していないこと

→語学力。

2. 教育課程の編成と教育方法について

*教養科目の編成について

*専門科目の編成について

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

*到達目標について

*評価方法について

*その他の指摘、改善点

①科目の編成については特に申し上げる点はありません。

様々取り組みをされていることが分かる為、特に問題はないと思います。

出来る限り、到達目標やカリキュラムごとの合格ボーダーラインを高く設定することが肝要と考えます。

また、コロナ以降対面の減少によりチームワークや対人能力、技術力に不安があるケースが増えているため、今後対策が求められると感じています。

② *教養科目の編成について

・素材の知見は重要であると考えております。素材論等は継続的にご実施いただきたいです。

*専門科目の編成について

・興味深い科目も多く魅力的に感じます。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：・特にありません。

*到達目標について：・特にありません。

*評価方法について：・妥当であると考えます。

③・シラバスを拝見した限り、自分も受講してみたい内容と率直に思いました。

教養科目・専門科目・“不足”については「わからない」というのが回答です。

データマーケティングコースを2年時の必須にされており、魅力的と感じますので

⇒到達目標・評価方法は、今年2月の卒業発表を拝見した範囲ですが、外部アドバイザーのような存在の評価・表彰を加えることも、市場性を意識するうえで有効かも思っております。

④ わからないので回答できない

⑤ わからない

⑥*教養科目の編成について：改善点なし

*専門科目の編成について：マーケティング分野を広げるのもひとつ

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：志の理論など（熱量をもたせる科目など）

*到達目標について*評価方法について*その他の指摘、改善点：なし

⑦教養科目の編成について

・バランスの取れたカリキュラム：人文科学、社会科学、自然科学などの基礎知識を学ぶことで、視野を幅広くすることにつながると思われました。

専門科目の編成について

・実践的なスキルの習得：デザイン、パターンメイキング、縫製技術に加えて、今後はデジタルツールの使用について、実践的なカリキュラムが求められると思われています。

改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

・CLOなどに特化した、企業とのインターンシップの取り組み。

到達目標について

測定可能な目標：学生が卒業時にどのようなスキルを持っているべきか、測定可能な目標を設定することが求められます。

評価方法について

多面的な評価：難しいかと思いますが、試験に加えて、プロジェクトやプレゼンテーション、協力企業からの評価など、多面的な評価項目を取り入れ、課題と行動をみることが出来れば、様々な角度で評価が可能と思われています。

その他の指摘、改善点

最新技術の導入：画像生成 AI やファッション 3D モデリングなどについて、カリキュラムの充実をすることが、将来の力になると思われました。

⑧こちらの内容に関してはイメージがつきませんでしたので回答を控えさせていただきます。

⑨以下、縫製業に関する興味を沸かせてもらえるかを観点に回答させていただきます。

・縫製業の歴史や時代の変遷、現況、今後の展望が分かるような業界知識カリキュラムの実施

・縫製業の地域性や仕組みなどをQ&Aを交え分かりやすく説明し、学生も気楽に参加できるインタラクティブな企業コラボカリキュラム（インターンシップへの展開）の実施。

・将来、デザイナー、パタンナー、販売職など縫製以外の職種に就く方も、基本的な洋服に関する知識を縫製作業を経て習得することの重要性、知識の深まりにつながることを意識付けるカリキュラムの実施。

・実務を意識した工業用ミシンを操作しての縫製技術、自己制作意欲の向上を目的とする専門的なカリキュラムの実施。

⑩ コミュニケーションや自ら考える力に特化したような講義（プレゼン）が多いと良いかと思えます。

3. 入学者受け入れについて

*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

***そのための方策がありましたらお知らせください**

①ファッションに対する熱意や、この業界への希望、楽しみをしっかりと持っていてくれる人財、またそれを育てることのできるような人財を受け入れて頂きたいと思います。
ファッション業界がもっと明るい話題や誇れるニュースをもっと発信していく必要があると思います。

②・『明確な職種(デザイナー等)に限定しすぎず、ファッションを仕事にしたいと思える人材』
アパレル業界全体として人材不足、特に現場寄りの職種(販売職等)の不足感が深刻です。従ってファッションが好きであることを糧に様々な働き方、活躍のフィールドがあることを理解し、能力や適性に合った職種を見つける考えをもった方が増えると、今後の業界の活性化を図ることができると考えます。

・デザイナーやプレスだけでなく、ファッションアドバイザーやディストリビューターの職種についても周知に向け引き続き発信いただけますと幸いです。企業としても努力してまいります。

③オープンキャンパスは、貴校も実施されていますので、
入学前の段階で「服飾ビジネスの成り立ち(各機能の役割、市場性、嗜好性等による)」と、「各職種・機能の役割と協力と協業」が、伝わっていると各授業内容への関心と投入が一層深まると思います。

④*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか
好きを追求できる人。

*そのための方策がありましたらお知らせください

入試で面接があれば、趣味、特技を聞いて深堀してあげてください。

⑤・アパレル業界の発展に寄与できるような学生
・アパレル業界で長く就業したい意思の強い学生

⑥ *今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか
スキルやテクニックは入社してからでも身につくが、人間力や働くことへの志、視座が高い人材を率先して受け入れるべき

*そのための方策がありましたらお知らせください

FFS理論など思考行動パターンから人物像を理解するのもひとつかと存じます。

⑦今後のアパレル業界の人材育成のためどのような人材を受け入れるべきか

ファッションに加えて、デジタル分野に興味を持つ人を牽引。

そのための方策がありましたらお知らせください

学校で学ぶことができるのが、縫製技術などだけでなく、デジタルツールを使いながらファッション生み出すことを学べるということがアピールできると、学生の幅が広がるのではないかと思われました。

⑧稼ぐ力。発信する力。を持っている。または備えている方。

*そのための方策がありましたらお知らせください

→徹底的に現場経験を積むこと。アルバイトの経験から何を学び、自分ならどうするのか。実際の仕事を通じて考え、学び、実践すること。それらの経験がある方こそ、企業が必要とする人材です。

⑨以下、入学受け入れ時には難しいと思いますが、入学後の育成方針として回答させていただきます。

- ・自分の将来像を描くことができ、そのために必要な技術、ノウハウを身につけてゆこうとする前向きな方。
- ・上記2と関連しますが、技術、ノウハウを生かせる進路、企業、職種など具体的な方向性を示せるカリキュラムの実施。

⑩ アパレル業界に限った話ではないかもしれませんが、主体的に行動できる方・好奇心旺盛な方・コミュニケーションに長けている方。

4. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

① 今後はデジタルのスキル、オンラインのスキルが重要になっていくと考えております。

そもそも今後活躍する世代はデジタルネイティブですので、単純なスキルは標準的に持ちだと思えますが、それらをファッションと、若しくはビジネスとどのように結びつけることができるか、ということが非常に大事だと思います。

古い技術とデジタルの融合、メタバース、NFT、AR、生成AIなどとファッションを掛け合わせて新しい価値を創造できることなど、新たな世界を切り拓く人材が求められていくのだと思います。

② ・変化の激しい時代の中、変化に応じて必要なスキル、知識を自ら学び発信できる人材。

・SNS上でのコミュニケーションのみに頼らず、対面時において自身を表現できる人材。

・チームで協働する意味を理解し、チームで成果を上げることができる人材。

③ EC・WEBでのリサーチが前提になり、各企業ブランドのコンセプト・パーパスの内容と発信をフレッシュに発信しリーチさせるまで、PDCAをしっかりと回し検証可能な能力。とくに当社ではPD（初動後の）、CAを冷静にこなやかに行うことと考えています。

⇒1.と被りますが「各々のプロとしての成長姿勢」を、「受容性・柔軟性」を持って、PDCAできるようなファッション・ビジネス・リーダーの育成は、ビジネス場面でも行っていきたい所存です。

④ *どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：語学力

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか：接客販売に向き合える人。

⑤ ・変化に対応することが出来る柔軟性のある学生

⑥ *どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

コミュニケーションを対面で表情豊かにとれる人材（抑揚のある話し方）説得力のある語彙力

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか

SNSなどでコミュニケーションをとっている人が多く、美しい日本語や所作で魅了できるような品格のある人材。適応能力のある人材・生成AIから課題抽出・打ち手の仮説立案ができる人材

⑦ どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

・デジタルスキル: 繰り返しになってしまいますが、3Dモデリングや画像生成AIなど、デジタル技術の知識とスキルが必要です。

・持続可能性の知識: 環境に配慮した素材選びや製造プロセスの知識が求められます。

どのような人材が今後必要になるとお考えですか

柔軟性と適応力を持つ人材: 変化の激しい業界において、柔軟に対応できる人材が求められます。

⑧ * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

→消費者の気持ちを理解し、消費者の心を動かせる打ち手を考えて実行できるスキル。経験。

* どのような人材が今後必要になるとお考えですか

→ファッションビジネスを上記のように、消費者起点で捉え、様々な打ち手を失敗しながら経験し、自分なりの解を導き出せること。または、そのための土台となる考え方やスタンスを身に着けていること。

⑨ ・リモート面談など非接触型のコミュニケーション場面が増えているので、対話力の低下が懸念されます。対話型のコミュニケーション能力向上が必要だと思います。

・簡単な日常的なテーマをグループディスカッションし、お互いプレゼンし合い、理解を深めチームワークや協調性を培ってゆくのも1つの方法だと思います。

⑩ コロナ禍で対人関係の構築をしてこなかった学生が良く見受けられます。

人との接し方や距離感をうまく出来る人が必要と考えます。

5. 本学では今後、画像生成AIやファッション3Dモデリングのスキルを身に付けた人材育成に取り組む予定です。この件に関してどのようなお考えをお持ちですか、ご意見をいただきたいと思ひます。

① 生成AIがどこまで進化をしていくのか、今の段階では想像もつかない部分がありますが、スキルを身に付けていくことは非常に重要なことであると捉えています。

一方でリアルなアパレル産業への実用化はまだ進んでいない実情も感じており、学んだことを活かす場面が限定的であることもまた実態です。

その為、現在の描く技術やパターンを構築するというアナログな技術が疎かになってしまわないよう留意が必要であると感じます。AIや3Dモデリングがこの先人間の技術にとって替わるようになるにはまだ時間がかかるものと思っております。

しっかりと技術を学んだうえプラスで新しい技術・スキルを身に付けていくことが重要だと思ひます。

② 積極的に推進すべきと考えます。

時代変化への対応に決して早くない業界ですし、他業界や他国に後れを取るわけにはいかないと考えています。ただし、アナログ手法との融合、調和も必要ですので両方の知見や理解がより必要になると考えます。

③画像生成AIでイメージを具体化する、というプロセスが今後は前提条件になろうかと思ひます(スピードと精度の向上)。デザイン画と同じような立ち位置になろうかと思ひますが、やはりコンセプトを口頭・文字で説明できてこそと思ひますので、基礎を身に付けていただく

ことと並行して学ばれることが大事と思います。

それを「製品化（試作品化）」することについては、企業でも手探りです。製造テクノロジーの進化についても、並行して学ばれると良いかと存じます。（他大学工学部との協働なども）

- ④ 新しい技術を習得することはよいことだと思います。
- ⑤ 特になし
- ⑥ 生成 AI の基礎は学生の間には必須で取り組むべき
- ⑦ 画像生成 AI やファッション 3D モデリングのスキルは、今後のアパレル業界で非常に重要な役割を果たすと考えられます。これらのスキルを持つ人材は、デザインプロセスの効率化や新しい表現方法の開発に貢献できると思われま。
- ⑧ ひとつのスキルとしては重要かと思ひます。ただ、それだけで仕事で成果を出せるまではいかないと思ひますので、あくまでもひとつのスキルとしてという形になるかと思ひます。まだその手の導入企業も少ないため、企業側のニーズもこれからという感じでしょうか。まずは、ファッションビジネスを店頭現場起点で体感すること。また、その中で消費者動向を学び、消費者の心の変化や気持ちの浮き沈み（アケサゲ）をファッションを通じて理解できることがベースになると考えております。マーケティングですね。これの実現には、インターンとしての就労経験が学生たちのスキルや経験に大きく影響すると思ひます。
- ⑨・3D モデリングに関しては、弊社でも 3DCAD などいろんなお客様、取引先との情報、技術、データ交換をする上で非常に重要なスキル、ノウハウだと思ひています。
 - ・AI は今まで蓄積された膨大なデータ、ノウハウなどから予測し作り上げるものなので、本當の意味での画期的な創造や斬新なアイデアを生み出すものなのかは??です。
 - ・ただ、今後のデータの蓄積やシステムの高度化によっては、適当な材料やコンテンツを与えてもかなり精度の高い結果や生産物が得られそうなのも事実です。人間が退化しそうですが・・・
- ⑩これから必要なスキルかと思ひます。デジタル化に拍車がかかると思ひるので、今後活躍できる場所が増えていくのではないでしようか。

6. その他

- ① 特になし
- ② 特になし
- ③新卒者の「企業内人材育成」については、当社も課題が多いと認識しております。

数多ある就職先の中から、当社で職業人生のスタートを切ることが、その後どのような成長を実現できる機会になるかは、責任を持って取り組みたいと考えております。
- ④ 特になし
- ⑤ 特になし
- ⑥ 特になし
- ⑦ 今後も、御校と業界、弊社との連携を更に強化し、産学連携で行うイベントやインターンシップなどの取り組みを行えればと存じます。
- ⑧ ファッションを楽しいと感じてもらえるカリキュラムづくりに少しでも協力させていただきます。お気軽にご相談ください。

⑨・全体的に大学側というよりは企業側からの立場、視点で考えましたので、アンケートご依頼の趣旨とは少し異なる内容かも知れませんが、専門性のある分野、職種に進まれる学生を意識して回答させていただきました。

・大学と企業が協力して、理想的な環境の構築、人材を育成することは、今後の少子化社会においては非常に意味のあることだと思います。今後も積極的な協力、参画をさせていただこうと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

⑩特になし